

ほたるっ子



磐梯第一小学校
学校だより
NO. 60
R4. 11. 14
(文責: 校長 菅家 篤)

ドリーム&チャレンジ! ~あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん~

136人の子どもたちが磐梯一小に来て、何か楽しい思い出をもって帰ってくれたら、それで十分なんだ…。

夜長の時季によせて



= 人生を変えたこの1冊 =

ある本との出会いが、人生を変えることがあります。私の教師感を変えた1冊の本があります。それは、石田衣良著『5年3組リョウタ組』です。私はこの本の帯のキャッチコピーに目がとまりました。

「教師だって、男子なのだ」何やらおもしろそうな本だと思って、書店で購入し、読み始めたら本当におもしろくて一気に読んでしまいました。

この本に出会う前は、「教師として目の前の子どもたちに何ができるだろう」「いったい、教師は何をしなくてはいけないのだろう」「教師とは、学校とは何だろう」そう考え込んでしまう自分がいました。

本の中で瀬戸という教師が、「あの子どもたちがこの学校に来て、何か楽しい思い出をもって帰ってくれたら、それで十分なんだ…教師にできることなんて、なにひとつない」と言っていました。それを読んで私はすごく納得できました。

主人公の5年3組担任の中道良太は、教師として特別な理想を掲げずに、いつも目の前の問題に頭で考えるより、体でこたえを出そうと試行錯誤しています。それがリョウタの最大の魅力です。私は、そんなリョウタ先生と子どもたちが織りなす物語に引き込まれ、自分の教師感を揺さぶられました。

世界が広がる。自分が深まる。そんな大切な1冊が見つけれたら幸せですね。



「家庭教育学級」のご感想、ありがとうございます！

父と子の男の約束、ステキでした！ 私自身も高校3年間、父にお弁当を作ってもらっていたので自分自身の高校時代とも重なり、なつかしい思い出と共に、父も渡辺さんのような想いで作ってくれていたのかと、うれしい思いと感謝の気持ちでいっぱいになりました。父の作るたまご焼きが食べたくなりました。(笑)ステキなお話と歌を聞けて幸せでした。ありがとうございました。

(4学年保護者様から)

お弁当を作った、というだけでなく、「たくさんの人と作ったお弁当」と、気持ちが込められ作ったお弁当。渡辺さんの温かい人柄が良く分かりました♪ 生ライブもよかったです！ ありがとうございました!! (1学年保護者様から)

以前に竹下和男氏の講演を何度か聴いた事があります。今回の渡辺氏とは視点は違いますが、「おべんとう」は子供達に知らずに食材に対する思いやり、作ってくれる人への感謝、大変さ等々を植えつける力があると改めて感じました。昔々の自分のべんとう作りを思い出しながら聴きました。大変良い企画だったと思いました。(見守り隊員様から)